

# 災害シンポジウム 被災地支援をとおして見えた現状と課題

～災害時に備えた障害者支援と地域での取り組み～

【日 時】令和元年 12 月 11 日（水）10：30～12：30

【会 場】横浜ラポール ラポールシアター（地図は裏面参照）

【内 容】

## 1. 誰ひとり取り残さない災害時対応をめざして ～災害時対応の事例から見える現状と課題～

一般財団法人 ダイバーシティ研究所（※） 代表理事 田村 太郎 氏

※ダイバーシティ研究所…「構成員のひとりひとりが『よりよい明日』をめざして活躍できる地域と組織のありよう」と定義し、「人の多様性に配慮した組織や地域社会づくり」を支援する非営利民間団体。東日本大震災や熊本地震などの被災地支援、調査にも取り組んでいる。

## 2. 災害時に備えた地域での取り組み ～泉区・葛野小学校地域防災拠点～

◇地域から：葛野小学校地域防災拠点 運営委員長 東本 上（のぼる）氏

葛野小学校地域防災拠点 元運営委員長 小山 義男 氏

◇支援者から：特定非営利活動法人ジョイカンパニー 理事長 西谷 みどり氏

◇通所者から：特定非営利活動法人ジョイカンパニー 通所者 佐藤 まゆみ氏

葛野小学校地域防災拠点では、地域の障害福祉事業所通所者や職員による障害理解啓発活動が活発に行われています。取り組みのきっかけと経過について、報告いただきます。

## 3. 会場の皆さまとの意見交換

## 4. 災害用コミュニケーションボード等の紹介

【定 員】300名（先着順）

※申込多数の場合には、定員に達した時点で締め切らせていただきます。申込後、特に連絡がない場合は、当日会場にお越しください。

【参加費】無料

【参加申込】「参加申込書」に必要事項をご記入の上、

**12月4日（水）までに郵送、または**

**FAXにてお申し込みください。**



災害用コミュニケーションボードが  
新しくなりました！

【主催】横浜市障害者地域活動ホーム連絡会、横浜市障害者地域作業所連絡会  
横浜市グループホーム連絡会、セイフティーネットプロジェクト横浜

【協力・司会進行】TEAM3（※）

※TEAM3：東日本大震災で被災した障害のある方の支援を目的に「横浜市障害者地域活動ホーム連絡会」「横浜市障害者地域作業所連絡会」「横浜市グループホーム連絡会」が立ち上げた災害時支援チーム。被災した小規模な事業所への支援金を募る活動や現地での支援・視察を行っている。

